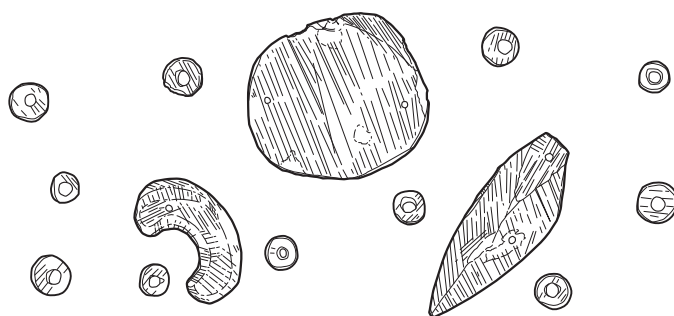


# 農山村地域復興基盤総合整備事業 関連遺跡調査報告 3

塚田 B 遺跡



2024年

福島県教育委員会  
公益財団法人 福島県文化振興財団  
福島県農林水産部

# 農山村地域復興基盤総合整備事業

## 関連遺跡調査報告 3

つかだ  
塚田 B 遺跡

# 序 文

福島県農林水産部が行う「農山村地域復興基盤総合整備事業」は、東日本大震災により被害を受けた地域の、円滑かつ迅速な復興のために必要となる農業生産基盤の整備をするための事業です。南相馬市原町区においては、震災後の自主避難や作付け制限、除染等により営農できない農地が散在する中で、大区画化や用排水路の整備等、効率的に営農を行うための基盤を整備することで、営農再開を加速化させる取り組みを行っています。

県教育委員会では、南相馬市太田地区における同事業計画地内に所在する塚田B遺跡について、埋蔵文化財の保存のための協議を行いましたが、現状での保存が困難であったため、記録保存のための発掘調査を実施することといたしました。

本報告書は、令和4年度に実施した塚田B遺跡の発掘調査成果をまとめたものです。発掘調査の結果、弥生時代の土器、古墳時代の住居跡等が確認されました。古墳時代の住居跡の中には土師器で作られた研磨具や剥離のある原石、石屑が検出されたことから、石製模造品・白玉の製作に関連した工房跡とみられます。

また、昔の川の跡からは、大量の土師器、石製模造品、白玉とその未完成品が多く出土しています。これらは、牛川や太田川流域の開発を担った首長層たちにより、水辺における祭祀儀礼が行われていたことをあらわしています。

この報告書が、県民の皆様の文化財に対する理解を深めるとともに、地域の歴史を解明するための基礎資料として広く活用していただければ幸いに存じます。

最後に、発掘調査から報告書の作成に当たり、御理解と御協力を頂いた福島県相双農林事務所、南相馬市教育委員会、公益財団法人福島県文化振興財団を始めとする関係機関及び関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

令和6年2月

福島県教育委員会

教育長 大 沼 博 文

## あいさつ

公益財団法人福島県文化振興財団では、福島県教育委員会からの委託により、県内の大規模開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査業務を行っております。

本報告書は、東日本大震災からの復興事業のひとつに位置付けられる、農山村地域復興基盤総合整備事業にかかる埋蔵文化財のうち、令和4年度に実施した南相馬市原町区に所在する塚田B遺跡の発掘調査成果をまとめたものです。

今回の発掘調査では、古墳時代の集落跡や自然流路跡を確認しました。自然流路跡からは、祭祀儀礼に用いられたとみられる、多量の土器や石製模造品・臼玉がみつかりました。また、未成品や剥片も多くみつかり、集落内で石製模造品が製作されていたとみられます。今回の発掘調査により、当地域における古墳時代の祭祀儀礼や、石製模造品の製作工程がうかがえる貴重な成果を得ることができました。

今後、これらの調査成果を歴史研究の基礎資料として、さらには地域の歴史を理解する資料として、生涯学習の場などで幅広く活用していただければ幸いに存じます。

終わりに、この調査に御協力いただきました南相馬市や関係機関に深く感謝申し上げますとともに、当財団の事業の推進につきまして、今後とも一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年2月





公益財団法人 福島県文化振興財団  
理事長 鈴木 淳 一

# 緒 言


- 1 本書は、令和4年度に実施した農山村地域復興基盤総合整備事業に関連する発掘調査報告書である。
- 2 本書には、以下に記す遺跡の調査成果を収録した。  
塚田B遺跡：福島県南相馬市原町区下太田字塚田 遺跡番号：07212708
- 3 当遺跡発掘調査事業は、福島県教育委員会が福島県農林水産部と協定を締結して実施し、調査に係る費用は福島県農林水産部が負担した。
- 4 福島県教育委員会は、発掘調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託して実施した。
- 5 公益財団法人福島県文化振興財団では、遺跡調査部の下記の職員を配置して調査にあたった。  
令和4年度(発掘調査)  
文化財副主査 佐藤 俊 (職名は当時)  
令和5年度(報告書作成)  
文化財主査 佐藤 俊
- 6 本書に掲載した自然科学分析は、次の機関に委託し、その結果を掲載している。  
出土炭化物の分析 株式会社パレオ・ラボ  
株式会社古環境研究所  
岩石肉眼鑑定 パリノ・サーヴェイ株式会社  
古環境の分析 パリノ・サーヴェイ株式会社
- 7 引用・参考文献は執筆者の敬称を略し、第2章末にまとめて掲載した。
- 8 本書に収録した調査記録及び出土資料は、福島県教育委員会が保管している。
- 9 発掘調査及び報告書の作成に際して、次の機関及び個人から協力・助言を頂いた。(順不同)  
南相馬市下太田行政区 南相馬市教育委員会 いわき市教育委員会 富岡町教育委員会  
とみおかアーカイブ・ミュージアム 公益財団法人いわき市教育文化事業団  
郡山市文化・学び振興公社 大安場史跡公園 いわき市考古資料館  
赤澤徳明 荒 淑人 石本 弘 植松暁彦 遠藤嘉一 小川淳一 小野本敦 金田拓也  
川田 強 管野和博 木幡成雄 佐久間正明 杉浦弘佳 高橋博志 田中祐樹 田中真理  
千葉清貴 藤木 海 松嶋直実 松本 茂 渡邊真悠 谷中 隆 吉田秀享 吉野高光

# 用 例

1 本書における遺構図版の用例は、以下の通りである。

- (1) 方位 表記がない遺構図は、すべて本書の天を北とした。平面図における座標は、平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」によるゆがみを補正した平面直角座標系のⅩ系の数値を示している。
- (2) 縮 尺 各挿図中にスケールとともに縮小率を示した。
- (3) 標 高 断面図及び地形図における標高は、海拔標高を示す。
- (4) 土 層 基本土層はアルファベット大文字のLとローマ数字、遺構内堆積土はアルファベット小文字のℓと算用数字を組み合わせて表記した。
- (5) ケ バ 遺構内の傾斜部は「」、相対的に緩傾斜の部分には「」、後世の攪乱部や人為的な削土部は「」の記号で表現した。
- (6) 用 例 挿図中の網点は以下を示す。これ以外は同図中に用例を示した。  
 焼土化
- (7) 遺 構 番 号 当該遺構は正式名称、その他の遺構は略号で記載した。
- (8) 土 色 土層注記に使用した土色は、小山正忠・竹原秀雄編著、農林水産省農林水産技術会議事務局他監修『新版標準土色帖』に基づいている。
- (9) 掘 形 遺構内の平面の掘形の線はグレーの線で表現した。
- (10) そ の 他 分析の採取地点について挿図中に「MSC-TD・B-○」と示した。

2 本書における遺物図版の用例は、以下の通りである。

- (1) 縮 尺 各挿図中にスケールとともに縮小率を示した。
- (2) 番 号 挿図ごとに通し番号を付した。文中における遺物番号は、例えば図1の1番の遺物を「図1-1」とし、遺物写真図版中では「1-1」と示した。
- (3) 注 記 出土位置・層位を、遺物番号右脇の( )内に示した。
- (4) 土 器 断 面 粘土紐の積上げ痕は、一点鎖線を入れて示した。
- (5) 計 測 値 各挿図中に示した。( )内の数値は推定値、[ ]内の数値は遺存値を示す。
- (6) 用 例 挿図中の網点等は以下を示す。これ以外は同図中に用例を示した。  
赤彩 

3 本書における文章の記載は以下の通りである。

竪穴住居跡の方角は、北を軸とし、辺の傾きが45°未満を「南北」、45°以上を「東西」とした。

4 本書で使用した略号は、以下の通りである。

南相馬市…MSC	塚田B遺跡…TD・B	
竪穴住居跡…SI	溝跡・自然流路跡…SD	土 坑…SK
遺物包含層…SH	遺構内のピット…P	単独のピット…GP
遺構外堆積土…L	遺構内堆積土…ℓ	グ リ ッ ド…G

# 目 次

## 序 章

第1節 事業の概要と調査に至る経緯	1
第2節 塚田B遺跡の略歴	2
第3節 調査経過	3
第4節 遺跡の位置と地理的環境	4
第5節 歴史的環境	6
第6節 調査方法	11
第7節 東日本大震災の復旧・復興事業に伴う 埋蔵文化財の取扱いについて	12

## 第1章 遺構と遺物

第1節 遺構の概要と基本土層	13			
遺構の概要(13)	基本土層 (13)			
第2節 竪穴住居跡	19			
1号住居跡(19)	2号住居跡(21)	3号住居跡(22)	4号住居跡(24)	
5号住居跡(26)	6号住居跡(29)	7号住居跡(32)	8号住居跡(34)	
9号住居跡(36)	10号住居跡(37)	11号住居跡(39)	12号住居跡(41)	
第3節 土 坑	43			
1号土坑(43)	2号土坑(44)	3号土坑(45)	4号土坑(46)	5号土坑(46)
第4節 溝跡・自然流路跡	48			
1号流路跡(48)	2号溝跡(54)	3号溝跡(54)	4号流路跡(56)	5号流路跡(101)
6号流路跡(107)	7号流路跡(110)	8号流路跡(114)	9号溝跡(114)	

第5節 遺物包含層	116
1号遺物包含層(116)	
第6節 整地範囲	120
1号整地範囲(120)	
第7節 小穴群	122
第8節 遺構外出土遺物	122
第2章 総括	
第1節 遺構	127
第2節 遺物	128
第3節 石製模造品について	131
第4節 土師器転用研磨具について	136
第5節 石製模造品・白玉の製作工程について	138
第6節 4号流路跡における祭祀儀礼の変遷	141
第7節 まとめ	144
付章 自然科学分析	
第1節 古環境分析	147
第2節 放射性炭素年代測定	164
第3節 炭素・窒素安定同位体比分析	166
第4節 炭化材の樹種同定	167



# 挿図・表・写真目次

## [挿図]

図1	塚田B遺跡位置図	1	図30	4号流路跡	58
図2	工事範囲と遺跡の位置	2	図31	4号流路跡遺物集中域1(1)	59
図3	遺跡周辺の表層地質図と土壌図	5	図32	4号流路跡遺物集中域1(2)	60
図4	遺跡周辺の地形分類図	6	図33	4号流路跡遺物集中域1(3)	61
図5	周辺の遺跡位置図	8	図34	4号流路跡遺物集中域2	62
図6	遺構配置図と基本土層図	14・15	図35	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(1)	63
図7	基本土層図(1)	16	図36	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(2)	65
図8	基本土層図(2)	17	図37	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(3)	66
図9	1号住居跡・出土遺物	20	図38	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(4)	67
図10	2号住居跡・出土遺物	22	図39	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(5)	68
図11	3号住居跡・出土遺物	23	図40	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(6)	69
図12	4号住居跡・出土遺物	25	図41	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(7)	71
図13	5号住居跡	27	図42	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(8)	72
図14	5号住居跡出土遺物	29	図43	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(9)	73
図15	6号住居跡・出土遺物	31	図44	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(10)	74
図16	7号住居跡・出土遺物	33	図45	本遺跡出土白玉分類	75
図17	8号住居跡・出土遺物	35	図46	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(11)	77
図18	9号住居跡・出土遺物	37	図47	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(12)	78
図19	10号住居跡・出土遺物	38	図48	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(13)	79
図20	11号住居跡・出土遺物	40	図49	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(14)	80
図21	12号住居跡	41	図50	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(15)	81
図22	12号住居跡出土遺物	42	図51	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(16)	83
図23	1～5号土坑	45	図52	4号流路跡遺物集中域1出土遺物(17)	84
図24	1～3・5号土坑出土遺物	47	図53	4号流路跡遺物集中域2出土遺物(1)	93
図25	1号流路跡(1)	49	図54	4号流路跡遺物集中域2出土遺物(2)	95
図26	1号流路跡(2)	50	図55	4号流路跡遺物集中域2出土遺物(3)	96
図27	1号流路跡出土遺物(1)	52	図56	4号流路跡遺物集中域2出土遺物(4)	97
図28	1号流路跡出土遺物(2)	53	図57	4号流路跡出土遺物(1)	98
図29	2・3号溝跡・出土遺物	55	図58	4号流路跡出土遺物(2)	100

図59	5号流路跡(1)……………	102	図79	古墳時代の円窓付土器……………	131
図60	5号流路跡(2)……………	103	図80	石製模造品出土遺跡……………	132
図61	5号流路跡出土遺物(1)……………	105	図81	浜通り北部地域の石製模造品……………	133
図62	5号流路跡出土遺物(2)……………	106	図82	有孔円板法量分布図(4号流路跡)……………	134
図63	6号流路跡……………	108	図83	石製模造品製作関連遺構出土 の土師器転用研磨具……………	136
図64	6号流路跡出土遺物……………	109	図84	塚田B遺跡における石製模造品・白玉の 製作工程フローチャート……………	140
図65	7号流路跡……………	111	図85	4号流路跡における祭祀儀礼の変遷…	143
図66	7号流路跡・出土遺物……………	113	図86	検出した軽石や火山ガラスの屈折率…	151
図67	8号流路跡……………	115	図87	各流路跡覆土の粒度組成……………	153
図68	9号溝跡……………	116	図88	主要珪藻化石群集……………	156
図69	1号遺物包含層……………	117	図89	珪藻化石群集……………	158
図70	1号遺物包含層出土遺物(1)……………	119	図90	植物珪酸体含量……………	159
図71	1号遺物包含層出土遺物(2)……………	120	図91	テフラ・砂分の状況……………	162
図72	1号整地範囲・出土遺物……………	121	図92	珪藻化石・花粉化石・植物珪酸体…	163
図73	小穴(1)……………	123	図93	暦年較正結果……………	165
図74	小穴(2)……………	124	図94	土器付着物の試料写真と採取位置…	165
図75	遺構外遺物出土状況……………	125	図95	炭素安定同位体比とC/N比の関係…	167
図76	遺構外出土遺物……………	126	図96	炭化材の走査型電子顕微鏡写真…	168
図77	4号流路跡遺物集中域1 出土土師器と類例……………	129			
図78	4号流路跡遺物集中域2 出土土師器……………	130			